

の中C・Sだより

令和8年夏号

発行 令和8年7月6日

校長 柴田みどり

文責 地域CD 宮原佳子

CS担当 教頭 山根啓子

の中応援団の皆様、ありがとうございました！！

5月10日(日)各地域の春日市春のクリーン作戦が終わった後、『の中応援団』の皆様が、中学校に集合され、生徒や保護者の方が安全に使用できるようにと駐輪場の整備や草木の剪定など、体育会前の除草作業をして下さりました。その際、部活動の生徒たちも一緒に作業をしてくださいました。また、体育会当日も朝早くに集合し、運営がスムーズにいくようにと一所懸命にご尽力されていました。学校をはじめ、生徒を陰ながらしっかりと支えてくださっている『の中応援団』の皆様、いつも本当にありがとうございます！



春のクリーン作戦お疲れさまでした。

年に2回行われる春日市のクリーン作戦。春は自主参加になっています。今年度の春のクリーン作戦は、多くの生徒の参加が見られました。生徒をいつも見守ってくださっている地域の方の温かい心にとっても感謝しています。



第2回学校運営協議会

第2回学校運営協議会が5月22日(金)に行われました。今回の運営協議会では、熟議テーマ『春日野中学校を「いじめZERO」の学校にするために「生徒」と「地域」それぞれどのようなことができるか話し合い、以後の実践につなげる。』として、**(SNSトラブル防止)** **(居場所作り)**についてそれぞれの立場で話し合いました。

＜生徒会代表生徒と各地域の方々の話し合いと発表の様子＞



【テーマ】

『春日野中学校を「いじめZERO」の学校にするために「生徒」と「地域」それぞれどのようなことができるか話し合い、以後の実践につなげる。』—SNSトラブルの防止・居場所作り—

＜生徒会代表生徒の意見～安心できる居場所をつくるために～＞

○クラス内での交流時間を増やす→班での会話から始める。

○毎日給食時間に日替わりで話題を出してもらう→内容が決まっているので話が弾む。

＜春日原・惣利・春日原南地区自治会の意見＞

OSNSトラブル防止は家庭が一歩。

○地域と生徒の接触機会を増やして大人は安全な存在だと思ってもらう。

- ・親だと言にくいことでも地域の人には話せることがあるかも。
- ・まずは、挨拶からコミュニケーションをとって顔なじみになることが大事。

○いじめについて

- ・いじめをされた方は一生残る→この現状を学校はしっかりと生徒にも伝えて欲しい。
- ・心に傷を負った側は声を上げられない状況がある。
- ・いじめアンケートでは本当の心の傷はわからないのではないか。

＜春日公園・春日地区自治会の意見＞

○居場所作り

- ・学年の枠を超えた友達同士で自治会の部屋を借りて勉強会を開くなど、話しやすい環境を作るとよいのではないか。その環境の元、親に言いにくいことは地域の大人に相談して欲しい。

OSNSトラブル防止について

- ・家庭での問題が大きい。各家庭で使用時のルールを決めることが大事なのではないか。

(例) 取得するアプリの管理など。

貴重な意見がたくさん出ました。是非親子で話をされる際、参考にされてください。(CD 宮原)